

行政情報化の推進

行政情報化の推進につきましては、国が進める電子自治体の取り組みとして、本町でも総合行政ネットワークと住民基本台帳ネットワーク、公的個人認証サービス、総合行政情報システムの管理運用に努めてまいります。

のびのびの南富良野

共につくるまちづくり

次に、住民と行政が連携し、魅力ある個性的で効率的な行政運営をめざす、のびのびの南富良野 共につくるまちづくりであります。

住民参画と協働

住民と行政の連携については、第4次総合計画の諸施策の推進にあたり、まちづくりプロジェクト委員会の設置や地域の声を広くまちづくりに反映させるために、移動町長室の開催、町長への手紙、広報広聴活動を展開する中で、まちづくりへの提案や地域の課題を語り合う機会を設ける

など、町民皆様の声を行政に生かし、住民参画と協働を推進してまいります。

テレビの地上デジタル化

テレビ放送局の地上波デジタル化については、本年度幾寅中継局の「HBC・STV・UHB・HTB」の民放各社の放送施設の整備を行う所要の予算を計上させていただきました。これにより町内金山・幾寅のテレビ中継局全てのデジタル化整備が終了することになります。

まちづくり応援寄付金

本町のまちづくりに賛同する方々から受けた「南富良野町まちづくり応援寄付金」の活用については、寄付金の一部を本年度予算に計上し、瑞々しい自然のまちづくり事業では、イトウ保護インフォメーションサイトの製作設置、学び楽しむ文化のまちづくり事業では、町内小中学校の図書購入及びフロアカーリングセットの購入に充ててまいります。

富良野広域連合

平成21年4月1日から「串内草地」、「消防」、「環境衛生」、「学校給食」の4つの事務事業がスタートした富良野広域連合であります。

今日の行政に対する課題は、少子高齢化社会と情報通信技術の進展や環境問題、教育問題など市町村の枠を超えて、広域的になってきており、多様化、高度化する住民ニーズに対応する施策の展開や、地方分権の受け入れ体制の整備が求められているところであります。

今後、広域で取り組むことで、より効率的となる事務事業について、広域連合を核として調査研究を重ね、より充実した組織づくりを目指すとともに、実施する業務を充実・発展させるため、構成市町村と連携を図りながら、行政の効率化を推進してまいります。

以上、平成22年度の町政執行に臨む基本的な考え方、重点施策や第4次総合計画を推進する主要事業について申し上げます。

平成22年度予算の概要

次に、平成22年度予算編成の考え方並びに概要を申し上げます。

予算編成にあたりましては、中期的目標として町の預金である「基金」に依存しない中で、行政サービスを推進する財政運営の構築を目指すことにし、行政体制及び事務事業全般について、見直しを進めながら地域の振興発展に取り組んでまいります。

本年度、特別加算される「地域活性化・雇用等臨時特別費」が創設され、地方交付税の増額が見込まれますが、厳しい財政運営に変わりはありません。

このため、本年度の予算編成にあたっては、「政策課題への的確な対応」及び「行政改革への徹底した取り組み」、「基金に依存しない財政運営に向けた歳出削減」を基本方針に定め、限りある財源の中で将来を見据えた事務事業を検証し、その効果を新たな分野へ投入することへの検討を行うなど、長期的な視点に立ったまちづくりを進めて

まいります。

その結果、予算規模は、一般会計

34億6,684万2千円

国民健康保険事業特別会計

4億3,236万7千円

老人保健特別会計

2億3,374千円

介護保険特別会計

2億4,599万3千円

後期高齢者医療特別会計

3,824万円

簡易水道事業特別会計

1億9,531万7千円

公共下水道事業特別会計

1億3,460万3千円

総額

45億1,569万6千円

となり、前年度当初予算と比較しますと総額で1.1%の増となった次第であります。議員各位をはじめ町民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。